

# 町政を問う

## 一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点をただし、所見を伺うことです。



柏倉 恵里子 議員

- ・ 長万部音頭の保存をどう考える ..... 5



大谷 敏弥 議員

- ・ 冬期間の町道の危険防止の対策は ..... 6
- ・ 地域対策、人口減少対策は ..... 7



村川 毅 議員

- ・ 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について ..... 8



橋本 収司 議員

- ・ 長万部町子ども読書活動推進計画について ..... 9

定例会2日目、4人の議員より一般質問が行われました。  
その内容を要約してお知らせします。

※全文は町ホームページからご覧になれます。

[町ホームページトップ](#) → [町議会](#) → [会議録](#)

— 柏倉 恵里子 議員 —

## 長万部音頭の保存をどう考える

(町長) 保存・伝承・気運の  
醸成に向けて考える

柏倉 長万部音頭を踊

る機会が少なくなり、伝え広めていこうという気運も感じられない。今年の町民運動会には、参加した高校生が数名、一緒に踊ってくれた。踊りは知らない様子だったが、踊ってみようとしてくれたことがとても嬉しかった。どこの町にも繋いでいきたい文化がある。長万部音頭も、このままだといずれ誰も知らない幻の歌と踊りになってしまふ。運動会にも町職員がたくさん参加している中で、町職員こそ先頭に立ち踊り出すべきだと思うし、そのあとに町民も続くだろう。保存会を立ち上げ、毛がにまつりでもやぐらを建て、輪になって踊る機会を作ってはいかがか。

また、盆踊りも各町内会の役員の方々が一生懸命に続けてくれているが、長万部町として開催する

ことがあってもいいのではないか。昔は仮装大会などで盛り上がったものだ。今はハロウィンで仮装が主流になりつつあるが、お盆に帰省した子どもさんや、孫さんなどの仮装も楽しみになるのではないか。町長の所信を伺う。

町長 現在の長万部音頭は「新長万部音頭」と

言われるもので、それまでの「長万部音頭」に替わり、町民が親しみやすく、行進や日本舞踊系の振り付けが可能な曲として、町開基120年・町政施行50年記念事業の一



町民花見会での踊りの輪

環で、新たな町のテーマソングとして製作されたものである。

当時は、毛がにまつりでも町内を踊りながらパレードする「千人踊り」の機会などもあったが、人口減少に伴いパレードも実施できなくなり、徐々にイベント等での使用が減ってきたのが現状だ。

保存会を起ち上げたり、盆踊りを町主催で開催してはどうかとのことだが、かつて駅横で実施された盆踊りや仮装大会は、町内有志の方々により開催した経緯もあり、このような文化的行事は自然発生的に醸成されていくべきもので、町としてはそれらの状況を見定めながら対応したい。

また、「新長万部音頭」は製作されてからすでに26年が経過しており、平成から令和に変わり、時代も変化してきているこ

とを踏まえ、今後は町民の気運の醸成などの状況を見守りながら対応する。

柏倉 今は携帯で音楽をダウンロードする時代なので、誰でも長万部音頭を入手できるようにしていただきたい。

町長 技術的にそれが可能かどうか検証していないので答弁を控える。

柏倉 新長万部音頭は、無体財産として町のホームページに載っている。町が積極的に守り広めることが必要だ。

町長 今後長万部音頭をどう保存していくのか、どう伝承していくのか、どうそれを気運の醸成に向けて活用するのか、ということを考えていきたい。



— 大谷 敏弥 議員 —

## 冬期間の町道の危険防止の対策は

(町長) 注意看板の設置や  
融雪剤の散布で対応したい

**大谷** 町営スキー場から温泉街へ下りていく町道北5号線は急な坂道であるため、冬期間に凍結してすべり怪我をする町民もいるとのこと。また、近くに用事があっても滑りやすいために遠回りすることがあり、不便を感じている人もいます。

**町長** 当該道路は幅員約4メートルのせまい坂道の町道で、民家の塀や柵が隣接している。周囲はすべて私有地で、出入口などがあるため砂置き場を設置する場所がない。仮に道路敷地に砂置き場を設置すると、自動車などの通行の支障になり設置は難しい。

当面の対策として、この場所に限らず、滑りやすい場所への注意看板の設置や日々の巡回の中で、傾斜のきつい坂道などの

め、砂置き場を設置してはいいか。

通行時の安全確保のため、砂置き場を設置してはいいか。

通行時の安全確保のため、砂置き場を設置してはいいか。

通行時の安全確保のため、砂置き場を設置してはいいか。

通行時の安全確保のため、砂置き場を設置してはいいか。

通行時の安全確保のため、砂置き場を設置してはいいか。

通行時の安全確保のため、砂置き場を設置してはいいか。



冬期間危険な町道北5号線

路面状況を観察し、必要に応じて融雪剤の散布などの対応を行いたい。

また、この時期は平地においても滑りやすい状況になることが多く、道路を歩行する方は、転倒事故防止のために靴の滑り止め対策を講じるなど、自己防衛にも努めていただきたい。



議会の会議録はホームページでご覧になれます

長万部町ホームページトップ → 町議会 → 会議録 からお入りください。

長万部町役場ホームページ

<http://www.town.oshamambe.lg.jp>

## 地域対策、人口減少対策は

### (町長) 第2期まち・ひと・しごと 創生総合戦略において各種取組を推進する

大谷 人口減少の危機

突破に向けた最大の課題は何か。地域における雇用効果がどう生み出されどう充実していくのか。働き口があるようだが、どのように人を呼び込むのか。以前、本会議での質問に対し答弁された次の2点について伺う。

1点目。雇用条件については1・41倍の求人率があるが、働く人がおらず企業が困っている状況で、1人でも多く長万部に来ていただけるよう施策を講じたい。

2点目。人材が集まりさえすれば工場を増築する意向の企業もあることから、町内企業への支援や移住定住施策を進め、補助制度の情報や発信も強化し、引き続き企業誘致と雇用拡大に取り組む。以上の2点について、その後の進捗状況と対策は。町長の所見を伺う。

町長 人口減少の克服

は極めて重要な課題であると認識しており、平成27年策定の第1期長万部町創生総合戦略に基づき、雇用創出や移住・定住の促進に向けた取組を進めてきたところである。

1点目。ハローワーク八雲の情報によると、令和元年10月の有効求人倍率は1・63倍と依然として高く、町内企業では引き続き人手不足の状況となっている。

2点目。理科大と町が連携し進めている地方創生推進事業のアグリ事業では、トマト工場などの企業関連施設の誘致と、14人の雇用の成果があった反面、企業移住政策では、長万部町企業等立地促進条例に基づく補助制度があるものの近年は利用実績がなく、有効な対策となっていないのが現状である。

なお、雇用・企業誘致に関連する移住・定住対

策では、地域おこし協力隊から移住の実績がある。来年1月末に東京で開催される「移住・交流アワード」地域おこしフェア2020において、みなみ北海道ブースで出展し、地域おこし協力隊の募集と移住・定住のPRを行う予定である。

今後の雇用・企業誘致を含めた地域対策・人口減少対策については、現在策定作業を進めている、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略において各種取組を推進し、今後地域社会を担う個性豊かな多様な人材の確保と、地域における魅力ある多様な就業機会の創出について、切れ目ない取組を継続・強化していきたい。

大谷 1人でも長万部に多く来ていただけるよう施策を講じたいと答弁しているが、どのような情報等発信してきたか。

町長 移住・定住に関

してはホームページを利用し、各種就農フェアにも参加して呼びかけをしている。

移住者は少しずつおり、札幌から来た方が国縫で民泊を始めたり、陣屋には喫茶店を営んでいる方もいる。

移住希望者もいるのだが問題はやはり家で、大金をかけずリフォームできるような空き家を探したいと誰しも思うが、そういう点でなかなか決定が見られない状況である。今後ホームページ等を通しながら、各フェアにも参加し、1人でも多く移住されることを望んでいきたい。



― 村川 毅 議員 ―

## 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

(町長) 民間意見を幅広く取り入れ策定したい

村川 地方の人口の減少に歯止めをかけるため、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことを目的として、2014年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定された。長万部町においても、2015年度から今年度までの5年間の総合戦略を策定して推進してきたが、次のステージとなる2020年から2024年までの、第2期総合戦略策定に向けての戦略の基本的な考え方と、現在の作業状況、今後のスケジュールを伺う。

町長 次期地方版総合戦略の策定にあたっては、

国や道が示す内容を勘案し、切れない取組を進めることが必要と認識しているところである。第1期の検証と第2期に向けた取組を取りまとめ、まちづくり推進会議やパブリックコメントを活用し、民間意見を幅広く取り入れながら策定したいと考えている。

現在の作業状況については、札幌で9月6日に開催された、国主催の地方版総合戦略策定に係る地方ブロック説明会に担当係長が出席し、9月13日に第4次長万部町まちづくり総合計画及び第2期長万部町創生総合戦略策定業務を委託発注し準備作業を進めているところである。また、11月5日に開催したまちづくり推進会議において、総合戦略の策定にむけた概要説明を行い、関連する町民アンケートを11月15日付で実施。現在、主要課題の整理および次期総合戦略の検討を行っている。

今後のスケジュールは、来年2月頃からパブリックコメントを募集し、3月末を目途に次期総合戦略の策定を見込んでいる。

村川 1期で策定した人口ビジョンでは、2040年には町民が3566人になるとの推計数値が出されたが、それから5年経過し、2期の戦略策定にあたり人口推計を見直すのか。

新幹線推進課長 現在

発注している総合戦略の委託業務の中で、人口ビジョンの見直しを行う予定である。平成27年の人口ビジョンを元に、社人研(※)データの更新作業を行う業務を発注している。

村川 1期の戦略の中では、再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネス事業ということで、交付金事業としてトマト栽培を進めているわけだが、2期の戦略においてこの交付金事業に手を挙げるのか。

町長 策定の会議の中に入っていないので答弁を控えていただく。

村川 1期の交付金事業は、3年間で2億8千

万ということ、町の持ち出しが1億4千万。これは町村レベルでは全国的に見ても突出した金額である。

先日の委員会での子育て世代のアンケートを見ると、何とかして欲しいという要望が結構ある。

2期の交付金事業ではそこまでお金をかけず、子育て支援事業を考えるべきと思うが。

町長 今も子育て支援には十分取り組んできていると思っている。計画策定の中で必要性が出てくる可能性が十分あるので、それもまた検討の課題にしていきたい

(※)社人研 国立社会保障・人口問題研究所



## 長万部町子ども読書活動推進計画について

(町長) 新たな計画を策定予定である

**橋本** 近年、子どもの読書離れが起きている。読書をより親しみやすくするため、読書環境を整備することが必要だ。

当町でも、平成22年に10年計画で「長万部町子ども読書活動推進計画」が策定された。最終年度となった現在、次の点について伺う。

1、長万部町立図書館の本の貸出しの状況と運営状況は。

2、現在に至るまでの計画の見直しは。

3、10年計画が終わり、今後さらなる計画は策定されるのか。

**教育長** 平成22年3月「長万部町子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書環境整備に取り組んできた。

1、図書貸出状況は、平成22年度末で貸出者数821人、貸出冊数2879冊。平成30年度末で貸出者数1823人、貸

出冊数3849冊。計画策定時と比較し、貸出冊数で33%増。子どもの読書習慣は着実に定着しているかと判断している。

乳幼児健診時のブックスタート事業、地域サークルが行う読み聞かせ会、移動図書館車による保育園、幼稚園、小学校への貸出などの成果と考える。

2、事業の成果が見られるため、計画の見直しは行っていない。

3、今年度内に新たな5年間の計画を策定予定。

**橋本** 中学生、高校生への貸出割合と、どのような取組をしてきたか。

**教育委員会事務局参事** 中学生への貸出割合は、平成30年度末で4%。残り96%が幼児と小学生である。中学校では、登校後10分の朝読書を実施。読書習慣がついてきていると思われるが、町立図書館からの貸出しではなく、実績に反映されていない。

高校では、今年度から授業で3年生が図書館から1人1冊程借りている状況で、読書に対する興味や関心が深まるものと期待している。

**橋本** 中高生が4%と大変低い。計画当初から比べてどの程度の変化か。

**教育委員会事務局参事** 当初の割合は中学生4%、高校生2%程度。割合はやや減少した。

**橋本** 成果が見られるので計画の見直しは必要ない、という答弁と食い違うのではないか。

**教育委員会事務局参事** 最初の答弁は、全体的な数字を捉えての話で、指摘のとおり中高生に対しての成果は見られなかった。

**橋本** 世界79か国の15歳が対象の国際学習到達度調査で、日本の読解力が8位から15位に後退と報道があり、文部科学省が学力向上の検討を発表した。これを踏まえた今

後の計画予定は。

**教育長** 第2期の計画で、読書活動の環境整備や啓発活動、読書に親しむ機会提供の3点を目標に掲げ、子ども達が自ら進んで読書活動を行う環境づくりに取り組む。

**橋本** 中高生の今後の取組で、学校と連携し計画を立てられないか。

**教育長** 校長会や教頭会で、また、学校に向き現状を伝え、貸出割合が増えるよう努力したい。

**橋本** 現在、町立図書館には図書館司書が常勤していない。子ども達だけでなく大人にも多く利用してもらうためにも、専門職の常勤司書が必要ではないか。

**教育長** 現在いる司書が今年度で定年退職となり、新たな司書が必要となる。図書館に常勤配置を考えている。